

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山平田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	ご利用者の特性に合わせて支援スペースを確保している。	感染症対策ため、密を避けた環境整備を目指します。
	②	職員の配置数は適切である	4	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	パーテーションで区切って構造化をはかっています。お手洗いには、踏み台や補助便座を用意して全ての年代でできるようにしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	毎日清掃を行っています。安全面や危険個所が無いかなを付けています。指導員が適宜消毒をしている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	共通理解する場を設けて意見交換をしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			保護者アンケートをもとに改善計画を立て、実施していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページの運用を進めて公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		必要に応じて検討・実施していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		会社独自の研修や発達支援研究所の研修に参加し資質の向上に取り組んでいる。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		見学時にシートへと聞き取りにてアセスメントを行い、体験時にお子様を見たうえで作成を行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	共通のアセスメントシートを用いて行っている。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	個別療育という事業所の特性を反映し、保護者様、お子様、事業所の3視点で目標設定を立てている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		支援計画に応じて目標を設定し、支援を実施するようにしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		基本的に児発管と担当指導員で計画し、必要に応じて他の職員の意見も取り入れています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		支援の振り返りと固定化にならないように工夫している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1	集団での活動を作成するように取り組んでいる。集団療育をしている事業所の斡旋を行っている。	小集団での活動機会は今後検討していく。複数人の職員と関わるようにさせていただきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		情報共有を行い、連携の確認を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		職員間で時間を作り話すようにしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援記録を作成し、支援の検証や改善を行っている。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		日々の支援の振り返りに加え、定期的モニタリングを実施し、見直しを行っている。	支援計画が達成できる目標を立てる必要がある。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		管理者・児発管が参加するようにしている。	
関係機関や保護者との	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	情報を共有するとともに対応を協議したうえで支援を実施している。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	情報を共有するとともに対応を協議したうえで支援を実施している。尚、医療的ケアの必要な方の通所は行っておりません。	該当ケースがある場合には、積極的に連携の機会を設けます。

連 携	②④	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5		情報を共有するとともに対応を協議したうえで支援を実施している。	該当ケースがある場合には、積極的に連携の機会を設けます。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		保育園・幼稚園・関係機関に出向き、現場の職員さんと意見交換をしている。常に見学を可能にしており、当事業所での様子が知れるようにしている。	連携の機会を設けていく。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		小学校や特別支援学校に出向き、現場の職員さんと意見交換をしている。常に見学を可能にしており、当事業所での様子が知れるようにしている。	連携の機会を設けていく。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		連携の機会を設けていく。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1		連携の機会を設けていく。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	会議や部会参加したりして活動を行っている。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		日々の振り返りで共通理解が図れるように努めている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3		家族支援プログラムを実施できる知識を持てるように研修などを行っていく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明を行うようにしている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		作成した支援計画はご理解いただけるように説明をしている。	事業所内相談を定期的に行えるように計画と実施を継続的に行っていく。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		プラン更新時にお伺いしている。日々の振り返りやモニタリング時に実施している。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		現在まで実施していないため、今後の開催について協議していく。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		相談日を提案し迅速に対応するように努めている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		ブログでの発信を行っている。	発信していることを周知していく。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		施錠できる場所に保管・管理している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		お子様・保護者様一人ひとりに寄り添うスタンスのもと支援させていただき、困りごとを聞けるよう常に心がけています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		地域の方が参加できるイベントは実施できていない。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		年に1回はきらり全体で研修を行い、感染症対応については、実践も交えて行っている。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		月に一度いろんな災害を想定し避難訓練を行っています。また、年に1回は通所されている利用者の方もご参加いただき、誘導から避難までを行っている。	保護者への周知方法を検討していく必要がある。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		受付シートやアセスメントシートへの記入を依頼していただき、聞き取りの際にも確認を行っている。	予防接種等は記入欄がない。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		食事の提供は行っていません。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		職員が発生時に報告書を作成している。	事業所内で共有し安心・安全に運営できるよう努めて参ります。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		定期的に研修を実施し意識づけを行っている。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		運営規定や重要事項説明書、支援計画にも明記し周知するとともに、社内では定期的に研修を行い共通理解に努めている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡山平田 校 保護者等数（児童数）： 17 回収数： 15

割合：88 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3				ワンフロアですが、パーテーションで区切って支援スペースを確保している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1		1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1				施設環境面で改良すべき点が発生した場合にはその都度対応させていただきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1				子どもたちのニーズなど考慮しながら支援道具など環境調整を行っております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	1				お子様一人ひとりに合わせた対応、支援をしていきます
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13			2		お子様一人ひとりに合わせた対応、支援をしていきます
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14			1	お子様の興味がある教材を用意していただき感謝しています。	楽しく通っていただけるよう教材を工夫していきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	1		1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	4	5		保護者様からの要望がありましたら検討していきます。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14			1		丁寧な説明がありました。今後も何かあればご相談ください。

者 へ の 説 明 等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14			1		保護者様と一緒にモニタリングを通して、計画した内容の説明を行っています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7	2	3	3	家庭でできる工夫等の説明をしてもらっている。親への支援プログラムがあれば参加したい。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15					共通理解の上で支援が進められるようにしていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14		1			気になる事があればご相談ください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	8		保護者同士の連携は、してほしい意見と特に無くてもよい意見がありました。	現在まで実施していないため、今後の開催について協議していく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14			1	相談した際は、すぐにセッティングしてもらえました。	迅速かつ適切に対応できるよう情報共有に努めている。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				特に保育園と話をしてほしい。	送迎時にて現状の状態など情報交換をさせていただいております。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	1	4		ホームページ、ブログ、LINEなどで実施しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15					施錠できる場所に保管・管理している。個人情報の保守を徹底していく。
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	2		3		アルコール消毒、検温など行い感染症対策を徹底している。その他密閉空間を回避するため十分な換気をしている。各マニュアルは待機スペースに掲示している。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2	2	5		防災訓練報告書を掲示しています。毎月1度、防災訓練を実施しています。皆様に認識していただけるように努めます。

満 足 度	㉔	子どもは通所を楽しみにしているか	15				楽しく通わせて いただいております。	楽しく療育ができるよ う今後も工夫してい きます。
	㉕	事業所の支援に満足しているか	14	1			もう少し小集団 を入れてもらえ たらうれしい。	満足していただけるよ う努めます。月1回小 集団ができるように心 がけます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。